

# 2

## 江東湾岸エリアの目指すべき都市像 / 3つのゾーンと目標

### 2-1. 地区の現状と課題

#### 有明北・有明南・豊洲地区

- ・有明北地区では、物流や工場等を土地利用転換した、大規模マンション開発が進んでおり、生活利便施設の整備をはじめとする、魅力ある住環境づくりが求められています。
- ・有明南地区においては、商業・業務機能や、東京臨海広域防災公園（有明の丘等）などのレクリエーション・防災機能が立地しており、他地区との相互連携が必要です。
- ・また、日本有数のMICE※施設が立地することから、国際競争力の向上に向け、周辺施設整備を合わせた、より一層の機能強化が求められます。
- ・豊洲地区では、公共公益施設の整備やマンション開発が進行するなど、拠点化が進んでいます。また、運河を活用した取組みも活発に行われています。今後は市場の移転や千客万来施設の開業により来訪者の増加が見込まれます。

※ MICE: 会議 (Meeting)、報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。



有明北・有明南地区



豊洲地区

#### 辰巳・夢の島・新木場地区

- ・辰巳・夢の島地区では、辰巳の森海浜公園や夢の島公園など、規模の大きなレクリエーション施設が充実していますが、施設同士を結ぶ動線が確保されていません。また、新木場地区とは、鉄道及び高速道路で分断され、両地区を結ぶ直接的な動線の整備が課題となっています。
- ・新木場地区は、江東区の歴史・文化を象徴する木材産業の伝統を受け継ぐ地区です。近年では、物流やオフィスなどの業務機能が増加しています。



辰巳・夢の島・新木場地区

#### 若洲・中央防波堤地区

- ・若洲地区には若洲海浜公園が立地し、キャンプやヨット、ゴルフなどのレジャー施設として賑わっています。
- ・中央防波堤地区には海からの風を都市の内部に導く「風の道」の起点として位置付けられている海の森公園の整備が進行しています。
- ・今後は若洲海浜公園と海の森公園との連携を強化し、江東湾岸エリアの回遊性を高めていく必要があります。



中央防波堤地区

## 2-2. 目指すべき都市像

江東湾岸エリアの「目指すべき都市像」を下記のように定めます。

### 目指すべき都市像

- ・オリンピック・パラリンピック競技場を中心に、区民の日常スポーツから世界の強豪が集う国際大会まで、スポーツを存分に堪能できる**国際スポーツ都市**を目指します。
- ・オリンピック・パラリンピック開催を契機として、世界中の人々が安心して滞在し、万が一の場合にも安全に過ごせる**先進防災都市**を目指します。
- ・江戸時代から続く伝統とオリンピック・パラリンピックから始まる未来が織りなす新しい文化を発信する**国際観光都市**を目指します。

## 2-3. 3つのゾーンと目標

江東湾岸エリアは更に大きく3つのゾーンに分けられ、それぞれゾーンの特性に合わせて「目標」を設定しています。

### 有明北・有明南・豊洲地区 「国際居住・観光ゾーン」

目標：誰もが居住、教育、医療を享受できる、東京で最も安全なまちを目指すとともに、水辺に隣接する環境を生かした居住施設や魅力あふれるエンターテイメント、情報発信の機能を提供します。



都市型ロープウェイ

### 辰巳・夢の島・新木場地区 「スマートな環境エネルギーゾーン」

目標：新木場に代表される、本区の伝統でもある木材の利用を推進することで循環型社会の構築を図り、辰巳・夢の島ではスポーツの中心地として、新たな伝統を育くみます。



木材を使用した競技施設整備

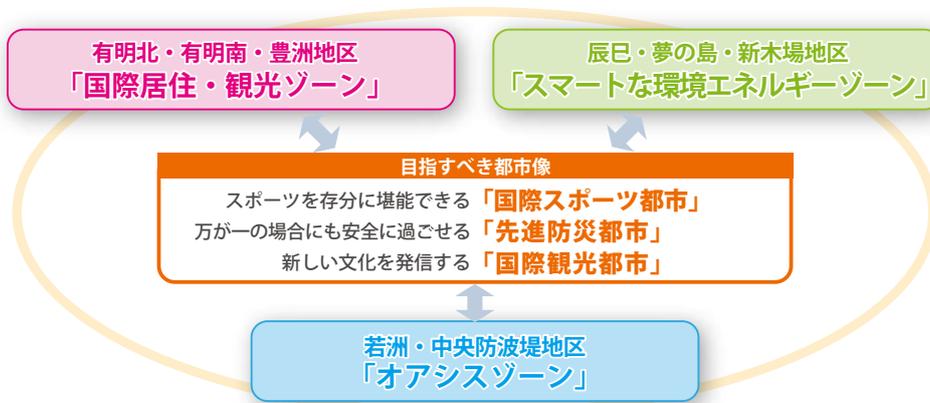
### 若洲・中央防波堤地区 「オアシスゾーン」

目標：屋外スポーツやレジャーの拠点として、交通ネットワークの充実を図り、都心近傍で豊かな自然を感じられるパークエリアを目指します。

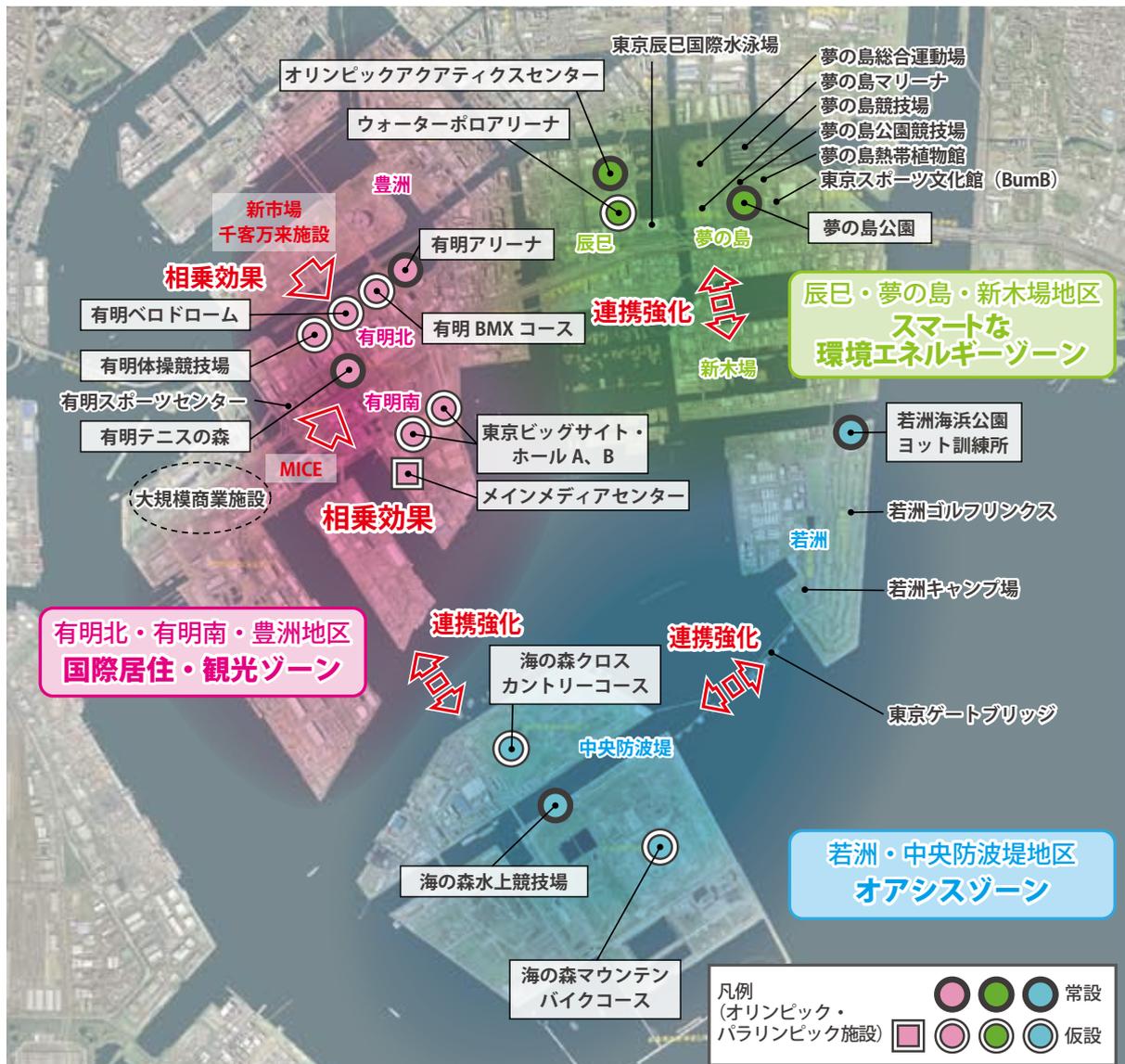


海の森植樹体験

### 目指すべき都市像と3つのゾーン



### 3つのゾーンと競技場の配置



※この図に示すオリンピック・パラリンピック施設は、平成27年6月1日現在のものです。今後、配置や内容等に変更が生じる場合があります。  
 ※夢の島公園、海の森水上競技場、海の森クロスカントリーコース、有明体操競技場、有明テニスの森、有明アリーナはIOC理事会が会場計画を了承しています。